

平成27年度 高山市政クラブ行政視察研修報告書

1. 視察期間

平成27年8月3日（月）

2. 視察先

高知県高岡郡佐川町

3. 視察項目

佐川町自伐型林業

4. 視察目的

小規模林業と市民活動団体との関わりの検証

5. 視察内容

ア、概要

地域の森林を活かしたまちづくりを進めようとする高知県佐川町とNPO 土佐の森・救援隊が協働体制を組み、住民が主体となり経済的効果や雇用・就業も見込める自伐型林業システムのモデルを発案し、地域循環の新しい仕組みを構築している。

平成26年度より、自伐型林業を進めるための地域おこし協力隊5名が活動開始、NPO 土佐の森・救援隊はこの協力隊員をリーダーとして、地域での仕組みづくりを行っている。

行政、地域団体、企業体等との連携による「木質バイオマス利用+地域林業+地域通貨システム」を構築し、実践している。

イ、事業内容

①地域おこし協力隊主体研修の実施

地域おこし協力隊への間伐研修、搬出研修、作業道敷設研修の実施

②地域応募者研修

地域住民自らが、間伐から出荷までできる技術を習得するための林業研修の実施。対象者は地域住民及びUIターン希望者

③自伐型林業チームのコーディネート

様々な経営やライフスタイル、地域の実情に応じたチーム編成への指導

④佐川町自伐型林業の仕組みづくり

地域住民だれもが森林整備・木材出荷できる地域材収集システムの構築

ウ、課 題

- ・ 財源確保
- ・ 自治体等公的資金の投入
- ・ 地域通貨券発行の導入方法
- ・ 木材の買取価格の見極め
- ・ 各関係機関の役割と協働事項の確立
- ・ 原木取扱量の見通しが不透明

6. 考 察

一番注目したことは作業道の新設で、幹線林道から小型運搬車が走行出来る急な勾配の作業道が整備されていたことで、現地視察でも徒歩でやっと登れる急峻な作業道であった。

高山市においては、このように危険な作業道の建設ではなく、安全な作業が行える作業道とする指導や、幹線林道の維持補修・間伐、育天作業路の開設・そして倒木処理用作業路の開設が必要であると実感した。また、木材の販売については、バイオマス発電の燃料として、1 m³約8,000円で発電会社へ販売できることが大きな収入源になっていることから、高山市としても今後木材販路の開拓に研究・努力が必要と感じた。

平成27年度高山市政クラブ行政視察研修報告書

1. 視察期間

平成27年8月4日（火）

2. 視察先

愛媛県北宇和郡松野町大字富岡 719

3. 視察項目

獣肉処理加工施設「森の息吹工房」について

4. 視察目的

鳥獣害防止、獣肉の特産品化、地域振興の取り組みを学ぶ

5. 視察内容

ア、概要

- ① 北宇和郡松野町では、関係機関、団体と連携し鳥獣被害に強い集落づくりに取り組むための仕組みづくりとして NPO 法人森の息吹を立ち上げ、猟友会や農林業従事者をはじめ民間からの参画を推進して、地域住民の自主的な働きをもって課題を克服する組織形態のシステムを構築した。

事業内容：有害鳥獣の捕獲及び確認、進入防止柵、緩衝帯の設置及び管理、被害状況の調査及び防止対策の研究等

② 獣肉加工施設

◎愛媛県鳥獣被害防止総合対策事業

平成25年度

総事業費：35,490千円（補助率1/3）

処理内容 対象鳥獣：ニホンジカ、イノシシ

処理能力 2～3頭/日

処理頭数 190等/年（計画）

処理施設面積 106.56㎡（建物724.94㎡）鉄筋コンクリート造
スレート葺

イ、効果

- ・ 野生獣肉を使った加工品の開発
- ・ ジビエの普及啓発及び販路開拓
- ・ 野生獣肉及び加工品の販売

平成26年度荷受実績 ニホンジカ420頭、イノシシ34頭

6. 考 察

町が立ち上げた NPO 法人ではあるが、猟友会との連携がうまく機能していないように感じた。

ジビエの需要は想像していたよりかなり高い。鹿肉は夏場の需要が多く、猪肉は冬場の人気商品であるため、町が積極的に猟友会と NPO 法人の間に入り、捕獲方法や搬入時間などの調整ができれば採算性の向上と新産業としての発展に繋がるのではないかと感じた。

高山市においても、猟友会が中心となりジビエが実施されつつあるが、行政も積極的に関わり販路拡大と共に、獣害対策の一部として早急に対応・応援できないか。